

# 春らぎ

Vol.52  
2019年  
春号



患者様の作品  
～精神療養病棟より～



温故会



日本医療機能評価機構  
認定第 JC1555 号

温故会  
直方中村病院  
福岡県認知症医療センター  
<http://www.onkokai.jp/nakamura/>  
編集・発行 直方中村病院広報委員会

- P1 表紙・目次
- P2 【研修のご紹介】
- ・経管栄養患者の経口摂取への取り組み～教育研修委員会より～
  - ・接遇勉強会～精神療養病棟より～
- P3 【活動のご紹介】
- ・家族会～精神科急性期治療病棟より～
  - ・病棟内の装飾～精神療養病棟より～
  - ・初詣～認知症治療病棟より～
- P4 平成30年度 福岡県認知症医療センター 一般市民向け 講演会のご報告



# 研修のご紹介

## 経管栄養患者の経口摂取への取り組み ～教育研修委員会より～

当院会議室にて、言語聴覚士 藤川 仁先生による経管栄養患者の経口摂取への取り組みについて講義が行われました。

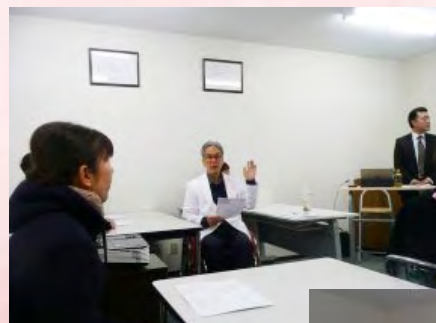
嚥下障害を起こす原因には、加齢によるものや、舌に悪い影響を及ぼす薬剤、逆に嚥下に良い影響を及ぼす薬剤があり、どうい理由で嚥下障害を起こしているのか評価することが大切という事でした。

経管栄養患者さんが経口摂取に移行するためには、経口摂取を開始する基準があり、その他、口腔ケア、嚥下反射促進訓練、水分のとりみを調整、体位の工夫、食器の工夫など説明がありました。

その中でも、一番大切な事は、1～2人が頑張るのではなく、目的を皆で共有して、病院や施設全体で目標をもってやっていく事が大切という事でした。

病院や施設での生活における関心事の第1位は“食事”ということで、人としての尊厳を保ち、QOLを高めるためにも、有意義な講演にしていきたいと感じました。

講義内容を振り返りながら、患者様の看護・ケアに当たりたいと改めて思いました。



◀ まずは吉村院長の挨拶



▲ 良創夢の言語聴覚士 藤川 仁先生



▲ 真剣に講義を受けるスタッフの皆さん

## 接遇勉強会 ～精神療養病棟より～

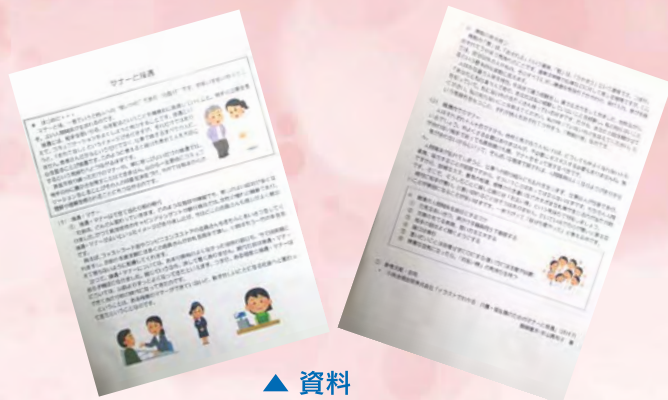
2病棟勉強会を行いました。

今回の勉強会は、「マナーと接遇」担当は山崎看護師です。

接遇と言えば、身だしなみ・爪・髪型のチェックが多く上げられますが今回の勉強会は「なぜ接遇が必要なのか？」そこを重点にして行いました。

結論として、接遇が出来ないと「恥ずかしい」のです。

最後に、山崎さんから患者さんに対して自分だけが行っていることを一人一人話しをしました。スタッフの患者さんに対する思いやりや、その人だけが行っている介護の仕方を聞き非常に参考になりました！また、積極的に勉強会を行いたいと思います。



▲ 資料





# 活動のご紹介

## 家族会 ～精神科急性期治療病棟より～

今回の家族会のテーマは、介護保険、介護保険制度と認知症です。5名の御家族に参加して頂きました。

介護保険については山本看護師、認知症については石川看護師が説明をしました。今回、介護保険の説明にあたった山本看護師ですが、実際に親の介護に直面した体験からの説明であり、わかりやすかったです。

いざ、親や家族に介護が必要になった時、また介護認定があり、自宅介護が困難である時、どういう関係施設があるか、費用はどのくらいか等、知りたい情報がたくさんあり横で聞いていても解りやすい内容でした。

認知症の親を持たれた御家族からの質問で、「ショートステイを利用したいと考えるが、本人は、場所が変わる事で混乱しないか」という質問がありました。それに対し、「毎日介護を行う御家族が疲れているのであれば割り切るのがいいかと。少し離れるとまた気持ちもリフレッシュでき優しくできる」と説明。

御家族は「家で看たい。母がいると外食もできない。今日は家族で外食します。」と話されていました。長い介護は介護する側のご家族の心や体の健康も大切であると感じました。



## 病棟内の装飾 ～精神療養病棟より～

今回はちょっと2病棟の様子を紹介したいと思います。毎月詰所の前や入り口に、月に合わせて職員が貼り絵をしているのですが、それをひとりの患者さんが作ってくれていることがあります。

2月はその患者さんに作って頂きました。とっても上手いと思いませんか？私には到底無理なこと…。その患者さんは元保育士をされていたとの事??時間を掛けずにすぐ出来上がっていました！

来月が楽しみです。いつもありがとうございます!!



## 初詣 ～認知症治療病棟より～

1月は病棟で初詣会を開催しました。手作りの鳥居を今年も使用し、男性スタッフに神主さんをお願いしました。戌と猪のイラストを身に付けている患者様がいらっしやいますね!!とてもかわいらしいです!

年男が一人、なんと職員に年女がそろそろいらしゃったようです(笑)記念に写真を撮られていました。

患者様にはお席に座って頂き、神主が回っていくことにしました!!!皆さんに災いが降りかかりませんように…。

お祓いのあとはおやつを食べました☆☆仮想のお金を渡し、職員が売り子になって回り、ご自分で好きなものを選んでいただくというのを行ってみました!皆さん、美味しく食べて頂きました!!!





# ～地域医療連携室より～

平成30年度

## 福岡県認知症医療センター 一般市民向け 講演会のご報告

### テーマ「当事者の希望と生きる力を応援しよう、一緒に考えよう」

【日時】 平成31年2月5日(火) 11:00～15:25(おれんじドア10:30受付開始)  
(講演会 13:00受付開始)

【場所】 ユメニティのおがた 小ホール

- 【内容】
- ・11:00～12:00 おれんじドア  
不安を抱えている当事者・家族・支援者でグループごとに分かれ、会話し
  - ・13:30～13:40 開会の挨拶  
福岡県認知症医療センター 直方中村病院 院長 吉村 恵
  - ・13:40～14:15 講演会:演題①「認知症とともに笑顔で生きる」  
講師:おれんじドア 代表 認知症の人と家族の会 会員  
日本認知症本人ワーキンググループ メンバー 丹野智文氏
  - ・14:15～14:45 講演会:演題②「パートナーとしてともに歩む」  
講師:認知症の人と家族の会  
宮城県支部 副代表 若生栄子氏
  - ・14:55～15:15 講師とフロアとの意見交換会
  - ・15:15～15:25 閉会の挨拶  
福岡県認知症医療センター 直方中村病院 事務課長 安部武俊



▲ 丹野 智文氏



▲ 若生 栄子氏

H31年2月5日(火)にユメニティのおがたにて、当院主催の地域住民向け講演会を開催させていただきました。

講師として、おれんじドア代表であり日本認知症本人ワーキンググループメンバーの丹野智文さんと、認知症の人と家族の会 宮城県支部副代表の若生栄子さん、総合司会として福岡県若年性認知症コーディネーターである中村益子さんをお招きいたしました。

午前中に行った「おれんじドア(当事者・家族・支援者でグループごとに分かれて日頃の不安や気持ちを共有する場)」には、当事者の方が8名、ご家族の方が19名、支援者の方が21名、計

48名の方のご参加をいただき、「同じ立場の者で繋がりが持てて、様々な意見が聴けてよかった」「認知症となりあまり外には出たいと思わなかったが今日は楽しかった」等の感想をいただきました。

そして、午後からの講演会には計201名の方にご来場いただき、丹野さんからは、若年性認知症と診断前と診断後での気持ちの変化や考え方等について率直にお話をしていただき、若生さんからはパートナーとしての考えや気持ちの変化等についてご講演していただきました。そして、その後フロアとの意見交換会を行い、数多くのご意見や質問、感想を頂くことができました。



▲ 中村 益子氏